おきなわ

発行　浄土真宗本願寺派
沖縄県宗務事務所
発行人　佐々木　龍三

〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電　話（098）860-7009
ファックス（098）860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

第1回 沖縄県宗務推進会議

6月29日（金）19時より、「2018（平成30）年度第1回沖縄県宗務推進会議」を開催しました。

議事では、財務承認議案第1号から第5号について、事務局が決算書を読み上げて説明、根原八十和委員より会計監査が報告され、全会一致で全議案が承認されました。

協議事項では、第4種賦課金分の特区賦課金について、佐々木龍三所長より「今年度から第4種賦課金が賦課されており、特区賦課金については2018（平成30）年度一般会計予算案において説明し、議決された。その後、前回開催の『2017（平成29）年度第3回沖縄県宗務推進会議』欠席者から『第4種賦課金は災害特化の賦課金であり、特区でも寺院被災の復興支援財源に充当してはどうか』と意見がでた。来年度の予算編成をどうすべきかは本会議にて協議いただきたい」と説明しました。

伊波善弘委員より「第4種賦課金分の特区賦課金は少額のため、寺院への教化助成費や特区内全か寺への災害保険料にしてはどうか」、島武夫委員より「沖縄も災害は予測されるので、災害に特化してはどうか」と意見が出ました。所長より、①今年度と同様に一般会計へ収納②災害用資金として特別会計へ収納の2案を提示し、多数決で、これまで通り一般会計への収納が決定。災害時は、委員の意見を聞きながら特区予算より支弁することを申し合わせました。

報告事項では、笠置信行参与より「第313回定期宗会」ついて報告がありました。続けて、前回の推進会議で質問があった恩納村の親鸞聖人銅像及び鐘楼堂について所長より「公益財団法人仏教伝道協会に確認したところ、三豊工業の所有物だったが、数年前に真宗大谷派から分派した寺院に売却されていた」と報告しました。

最後に島委員より、2019年度開催の「第50回九州地区組長研修協議会」について、沖縄特区担当にて来年7月2～3日開催に正式決定したと報告され、閉会となりました。

【財務承認議案】

第1号　2017（平成29）年度一般会計　沖縄県宗務事務所費歳計決算
第2号　2017（平成29）年度特別会計　沖縄県宗務事務所伝道車維持積立金歳計決算
第3号　2017（平成29）年度特別会計　沖縄県宗務事務所振興金庫積立金歳計決算
第4号　2017（平成29）年度特別会計　沖縄県宗務事務所退職積立金歳計決算
第5号　2017（平成29）年度特別会計　子ども・若者ご縁づくり推進費歳計決算

ハイサイ!! 沖縄へようこそ

6月19日（月）は安芸教区歓喜会の皆さん、7月4日（水）は長崎教区布教団、7月6日（金）は熊本教区・大分教区布教団の皆さんが沖縄別院に参拝されました。皆さんは新しくなった本堂や納骨堂を見学され、佐々木龍三輪番がお話した沖縄での真宗の歴史や特区開教の歩みなどを聞いて、理解を深めておられました。

またのご参拝をお待ちしております。

安芸教区歓喜会の皆さん

熊本・大分教区布教団の皆さん

長崎教区布教団の皆さん

大阪北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風第21号、北海道胆振東部地震など、各地での災害で被災された皆さまに哀心よりお見舞い申しあげます。

沖縄県宗務事務所

事内行案

※特区内寺院・布教所の行事告知・レポート、お寺紹介文などを募集しています。問合せ・申込みは特区報「おきなわ」担当まで。

9月後半の行事

キッズサンガ【久米島布教所】
9月16日（日）午前10時～

法話会【久米島布教所】
9月16日（日）午後7時～

お経の練習会【沖縄別院】
9月20日（木）午後7時～
講師：伊波敬人 師（浄願寺住職）

秋季彼岸会【沖縄別院】
9月23日（日）午前10時～

10月の行事

秋まつり 2018【沖縄別院】
10月14日（日）午後6時30分～

キッズサンガ【久米島布教所】
10月21日（日）午前10時～

法話会【久米島布教所】
10月21日（日）午後7時～

常例法座【天久礼拝所】
10月28日（日）午前10時～
法話：正永顕真 師（別院職員）

11月前半の行事

常例法座【沖縄別院】
11月11日（日）午前10時～
法話：齋藤謙吾 師（別院職員）

秋まつり 2018

10月14日（日）に沖縄別院境内で「秋まつり2018」を開催します。

予告

昨年は伊祖・仲間・牧港の自治会さま、門信徒の方々など、大勢のご参加をいただきました。今年も近隣の皆さまとの楽しい交流や、子ども・若者とのご縁づくりの一環として、**エイサー、演奏イベント、子ども向けイベント、盆踊り、抽選会**などを予定して、皆さまのお参りを心よりお待ちしています！

第5連区門徒推進員実践研修会

九州の推進員〝念仏者〟が集い、熱い思いを語り合う
次回2020年度の開催地は沖縄!!

7月3日（火）～4日（水）の2日間、「2018（平成30）年度第5連区門徒推進員実践研修会」（佐賀教区担当）が「念仏者の生き方について学ぶ～寺と門徒のあり方～」をテーマに佐賀市内のホテルで開催されました。

特区より参加いただいた石川八代子さんに報告いただきます。

～～～～～

折しも、前日未明に沖縄をかすめ通った台風7号が九州北部に接近し、鹿児島教区からの参加者一行などは一般道路をバスで4時間半かけて会場入りされたそうで、安堵の内に開催できましたことは有難いことでした。次回開催地が沖縄ということもあり、私は特段の使命感をもって研修会に臨みました。

研修会では、宮本義宣師（東京教区神奈川組高願寺住職、連研中央講師）のお話を聞き、話し合い法座が10班に分かれて行われました。私は、沖縄には古くから民俗信仰（祖先崇拝）があり、真宗文化の歴史は浅いこと、真宗への入口は、浄土真宗の教義、親鸞聖人への信仰であることを発表しました。その後、各班からの発表が行われ、「お寺は心のマッサージ」「これまでは先祖だけに手を合わせていたが、み教えを聞き阿弥陀さまに手を合わせるようになった」「お参りすることが大切。聴聞とは気づきをいただき、どう生きるかを考えること」などの声が聞かれました。それらを踏まえ、宮本師からまとめの講義をいただきました。

各班の話し合い法座を聞き、私は「第5連区は元気だな」と感じました。多くの人が門徒推進員としての活動を慶び、思いを形にしたいという強い気持ちをもっているようでした。

次回は初の共催で、長崎教区・沖縄特区が担当します。閉会式では、長崎の皆さまと一緒に挨拶をしました。頭の中は連日の研修内容でいっぱいでしたが、まず「さとうきび畑」のワンフレーズを歌い、気持ちを整えてお話ししました。

研修を終えたあとの夕食懇親会では、円卓を囲みながらなごやかな交流の輪が広げられ、歌や踊りも盛り上がり、旧交を温め、新たな出遇いにも恵まれました。

佐賀教区の久保照代会長をはじめ、皆さま方には大変お世話になりました。二年後、長崎教区・沖縄特区での研修会の成功に向け、精一杯努めていきたいと存じます。有難うございました。

（記：石川八代子）

上）講師の宮本師によるお話に聞き入る参加者
中）次回担当長崎・沖縄のあいさつ　下）話し合い法座の様子

夕食懇親会の様子

ほとけさまのおはなし

新たな人生を歩み出すお二人に

私事ですが、今年は友人の結婚式に呼んでいただくことが多く、結婚式について考えてみました。

結婚式とは、めぐり遇って結ばれるご縁をいただいたお二人が、新たな人生を歩み始めるための大切な儀式です。当別院でも仏前結婚式を執り行っています。

皆さんは、プロポーズの言葉を覚えていますか。テレビなどでは「必ず幸せにするよ」がよく見られますが、ひと昔前は「一緒に苦労してくれないか」が主流でした。

ただ、この言葉は「苦労を背負わねばならない」のではなく、「ともに苦労を乗り越えましょう。あなたの苦労は私も一緒に背負います」の思いが込められているのです。

『仏説無量寿経』に「もろもろの庶類のために不請の友となる。群生を荷負してこれを重担とす」とあり、その意味は「なにも言わなくても、友となり、一緒に苦しみを背負っていくよ」で、仏さまが私に寄り添ってくださるお心が伝わってきます。仏さまは、結婚式で結ばれたお二人の間柄のように、いつも私を気にかけ、ともに歩んでくださっています。

私の友人にも、二人そろって仏さまとともに歩む人生ですから、仏さまのお心にかなう「和顔愛語」の生活を営んでいただきたいものです。

（職員A）

慰霊の日

6/23
沖縄各地で戦没者追悼法要勤まる

6月23日（土）、73年目の慰霊の日となったこの日の正午より、沖縄別院本堂と久米島布教所で「慰霊の日」全戦没者追悼法要をお勤めしました。別院では佐々木龍三輪番の導師のもと、多くの方が参拝されました。

また、久米島町立大岳小学校横の慰霊碑前では「平成30年久米島町全戦没者追悼」、安波茶・仲西・屋冨祖自治会の慰霊碑の前でも追悼法要をお勤めしました。

久米島町全戦没者追悼式では、遺族会長が終戦の年に起きた日本兵による住民虐殺事件について話され、久米島町長は「再び戦争が繰り返されないように」と挨拶されました。島内の小中学校の生徒代表は争いのない平和な世界に向けての思いを語り、千羽鶴が慰霊碑に供えられました。

世界各地で今も争いが絶えない現実をみつめ、いのちの尊さ、戦争の悲惨さ、非戦・平和の大切さを、各法要を通して伝えていかなくてはなりません。

沖縄別院での追悼法要

久米島町全戦没者追悼式